

実践報告 No. 2

「家庭基礎」における道德的実践力の育成 — 道德教育指導参考資料『明日を拓く』を活用した実践 —

愛知県立豊橋商業高等学校 教諭 小島 佳世

1 はじめに

平成21年公示の学習指導要領では、学校教育活動全体を通して道德教育を推進していくことが示された。特に高等学校段階では、生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し、豊かな自己形成ができるよう、各教科等の特質に応じ、適切な指導を行うことが求められている。

道德の学習の柱である「自己を知る」「他者を理解する」「社会と関わる力を育成する」に関連した内容は、教科「家庭」に関する各科目の学習内容の中にも多くある。本校では、「家庭基礎」の学習内容に、意図的、計画的に道德的な思考・判断・表現を採り入れた学習を展開している。今年度は、愛知県教育委員会が作成した道德教育指導参考資料『明日を拓く』を活用した実践を行った。この中から三事例を取り上げ、紹介する。

2 生徒の実態と本実践のねらい

本校は愛知県の南東部、豊橋市の中心に位置する、1学年4学科7クラスの単独商業高校である。男女比は2：8と女子生徒が多く、部活動も全国大会や国体に出場するなど活発で、精神健康度も高く、落ち着いた環境で教育活動が行われている。生徒の学習成果の指標の一つとなる各種検定試験では、国家資格や高位の検定資格を取得するなど、学業においてもすばらしい成果を上げている。

昨年度「高等学校教育指導資料(平26-11号)」に、本校生徒の道德性に関する実態調査の結果を掲載した。その中で、「道德性は教えなければ育たない面もあり、高等学校段階においても状況に応じた道德的な思考について指導するとともに、実践力に結び付けることも必要である」という分析結果を得た。

そこで、昨年度から実施している、道德教育の視点を踏まえた教育活動を、「家庭基礎」の各単元において実施するとともに、特に今年度は、『明日を拓く』の教材を家庭科の単元構想に組み込み、教科における道德教育を実践した。この取組を通じて、生徒自身に将来の社会人・家庭人としての自覚をもたせ、道德的実践力を育成することをねらいとした。

3 『明日を拓く』の教材の「家庭基礎」の学習への組み込み

本校は、「家庭基礎」を第3学年で3単位履修している。表1は、「家庭基礎」の学習内容における、『明日を拓く』の教材の位置付けを示したものである。単元・小項目は、「家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）」を基本に記載した。また、この表内の学習のねらいは、道德教育に関連した部分を抜き出した。

表1 「家庭基礎」の学習内容における『明日を拓く』の教材の位置付け

章・章目	配当時間	ワークシート名	「明日を拓く」の教材名	学習のねらい (道徳関連のみ)	中学校における道徳の内容
1章 自分らしい人生をつくる	5/8	自分らしく生きるには	「自分調べ」*	人は完成された人間ではないこと、周囲に受け入れられ支えられている存在であることに気付かせ、他者への感謝と思いやりの心を育む。	自主自律、誠実、責任、向上心、個性伸長、弱さの克服、生きる喜び
		青年期の課題・・・自立	「自立度チェック」	自立するための目標を設定する。	自主自律、誠実、責任
		コミュニケーションスキルを身に付けよう	「上手に自己表現しよう!」*	自分の考えや気持ちを理解し、配慮した伝え方ができる。	自主自律、誠実、責任、人間愛、思いやり
		未来を生きる	「15年後の私」	社会における自分の立場や役割を考慮することで、今をどのように過ごせばよいかを考える。	向上心、個性伸長、家族愛
		エチケットとマナーを考えてみよう	「マナーとエチケット」	日頃の行動を振り返り、人とのコミュニケーションの在り方を考え、行動できる。	基本的な生活習慣、節度、調和、向上心、個性伸長、礼儀
2章 子どもと共に育つ	2/10	子どもと生存権	「赤ちゃんポスト」	乳幼児にも「生存権」があることを知り、命の尊さについて考える。	人間愛、思いやり、立場の理解、寛容、謙虚、生命尊重
		持続可能な少子化・子育て政策	「みんなでつくる条例」	少子化問題や女性の就労と子育て支援に関する問題点を見つけ、住民参加型条例づくりの体験を通して、互いの権利や立場を尊重したよりよい地域社会の実現に向けて積極的に取り組む意欲や意識をもつ。	真理愛、理想の実現、人間愛、思いやり、立場の理解、寛容、謙虚、弱さの克服、生きる喜び、郷土愛
3章 高齢社会を生きる	1/5	持続可能な高齢者政策	「みんなでつくる条例」	高齢者が健康で充実した生活を送るための住みよい持続可能な地域社会にすることを旨とし、住民参加型条例づくりの体験を通して、互いの権利や立場を尊重したよりよい地域社会の実現に向けて積極的に取り組む意欲や意識をもつ。	真理愛、理想の実現、人間愛、思いやり、立場の理解、寛容、謙虚、弱さの克服、生きる喜び、郷土愛
7章 住生活をつくる	1/8	災害対策	「トリアージタッグ」*	大災害時における困難な状況下における医療の難しさ、命の尊さ、生きることに対する意味など、「命」に対する価値観を考える。	生命尊重、立場の理解、寛容、謙虚
8章 家族・社会の共生	2/7	経済的に自立するための職業生活	「郷土の偉人 杉原千畝」	人の立場や状況により考え方が異なることを知り、今後の職業生活に生かすことができる。	自主自律、誠実、責任、正義、公正公平、勤労、奉仕、公共の福祉、生命尊重
		持続可能な環境政策	「みんなでつくる条例」	消費生活の中から環境に関する問題を見つけ、住民参加型条例づくりの体験を通して、互いの権利や立場を尊重したよりよい地域社会の実現に向けて積極的に取り組む意欲や意識をもつ。	真理愛、理想の実現、人間愛、思いやり、立場の理解、寛容、謙虚、自然愛、畏敬の念、弱さの克服、生きる喜び、郷土愛
9章 生活を設計する	1/1	私の未来 家族と共に創る生活	「15年後の私」	生涯を見通した生き方を考えるとともに、家族とともに生活を創り上げるための生活設計を考える。	向上心、個性伸長、家族愛

配当時間における分子は、『明日を拓く』を活用した時間数を示す。

*実践報告で紹介する内容

4 実施方法

(1) 対象と実施時期

第3学年全員（各年度），平成26年4月～平成27年9月

(2) 教育課程上の位置付け

家庭科，「家庭基礎」（3単位）にて実施

(3) 使用教科書

『家庭基礎 自立・共生・創造』（東京書籍）

5 実践報告

科目「家庭基礎」において、『明日を拓く』の題材を使用した実践例を三つ紹介する。【指導展開】における「指導上の留意点」については，道徳に関連した部分のみ記載した。【留意事項】は実施後に気付いたことなども含め記載した。

(1) 実践①

【単元名】 第1章 自分らしい人生をつくる

【『明日を拓く』から使用する教材】 第2章 第1節 自己をみつめる 「自分調べ」

【単元の指導時間】（8時間完了）本時 1/8

- 1 生涯発達の視点……………1（本時）
- 2 青年期の課題……………1
- 3 目標をもって生きる……………2
- 4 人生をつくる……………1
- 5 家族・家庭を見つめる……………1
- 6 これからの家庭生活と社会……………2

【題材】 「自分らしく生きるには」（ワークシートタイトル）

【題材の目標】

（教科の視点）日頃の生活を振り返り，この1年間で身に付けることの目標を立てる。

（道徳の視点）人は完成された人間ではないこと，周囲に受け入れられ支えられている存在であることに気付かせ，他者への感謝と思いやりの心を育む。

【学習活動と道徳の内容項目】（中学校の分類による）

1 主として自分自身に関すること

（自主自律・誠実，責任）自律の精神を重んじ，自主的に考え，誠実に実行してその結果に責任をもつ(1-(3))。

（向上心，個性伸長）自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，個性を伸ばして充実した生き方を追求する(1-(5))。

3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

（弱さの克服，生きる喜び）人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて，人間として生きることの喜びを見いだすように努める(3-(3))。

【指導展開】

	学習活動（生徒）	指導上の留意点（教員）	参考
導入	1 本時の目標と学習内容を知る。	○自己分析を行いこれまでの生き方を振り返り、今後の生き方を考えることを伝える。	
展開	1 小中学校時代の学習内容 2 家での役割 3 「家庭基礎」の学習内容と評価 4 自分のタイプを知る。 5 自己分析をする。 6 灰谷健次郎著「せんせいけらいになれ」を読む。 (1) 自分の悪い面を書き出す。 (2) 自分の悪い面に関する気持ちの変化や行動の傾向を分析する。	<省略> <省略> <省略> ○チャートでチェックし自分がどのようなタイプの間人か気付かせる。 ○自分自身の性格・行動力・考え方などについて分析させ、箇条書きで記述させる。 ○資料を読ませる。 ○いつ、誰に対して、嘘をつく・嫌がらせをするなどの言動をしたかを思い出させ、記録させる。 ○文字にしたくないことは☆印を書かせる。 ○自分の悪い面を思い出すことで、不愉快だったと感じたときの気持ちを、感じたままに書き出させる。 ○どのようなときに自分が悪い行動をとるかを分析させる。 ○悪い言動をしてしまった相手に、今どのような気持ちを抱いているかを書かせる。	ワークシート5 ワークシート6 ワークシート7 ワークシート7(1) ワークシート7(2)～(6)
終結	1 本時のまとめ 2 自己評価	○自分自身を分析した感想と今後の生き方について考えさせる。 ○自己評価をさせる。	ワークシート8 自己評価

【展開の工夫】

- 教科の内容と『明日を拓く』の教材を採り入れたワークシートを準備した（資料1）。
- 自分を知るための導入として、簡単な自己診断チャートを準備した。
- 自己分析を行うに当たり、先に自分のよいところから分析させ、後からこれまでの自分の嘘や偽りの行動を思い出させるようにした。
- 自分の隠れている部分を探り、自分自身の考え方や行動の傾向を分析することで、過ちや嫌な行動を繰り返さなくなり、状況に応じたよりよい対処ができるようになる。そのことに自ら気付くよう展開を工夫した。
- 授業の振り返りとともに、今後の生き方について考えたことを記録させた。

【留意事項】

- 自分自身を知ることは、今後の進路選択や今後の自己の生き方在り方に影響することに気付かせる。
- 自分自身のよい面だけに目を向けるのではなく、自分自身の弱い部分を見つめ直すことで、今後の生き方が大きく変わることに気付かせる。

【授業後の生徒の記録と考察】

【生徒の記録から・・・今後の生き方とその理由】	
今後の生き方	理由
自分自身のことを見つめ直す時間をもつ。	自分自身のことがよく分かっていない。自分を分析することで自分自身を成長させることにもつながると思ったから。

自分自身を振り返ったとき、恥じないように過ごしていきたい。	自分のダメだった過去を思い出すと心が痛い。その度に母の悲しい顔が浮かんでくる。人に自分の過去を言えずずっと心苦しかった。この学習の機会があり、自分の気持ちを言えたことで、心が少し楽になった。
自慢できるような人になりたい。	人がいるからこそ、自分の欠点に気付くことができ、反省出来ると思う。そういう面では感謝の気持ちがある。だからこそ、人を大切にし、自分も大人になり行動を改めたいと思う。
恥のない生き方をし、もっと自分と向き合って生きていく。	自分の不愉快な行動に対する後悔と謝罪、それでも一緒にいてくれた友だちに感謝です。過去の自分は何時思い出しても恥ずかしい自分が多いと分かった。
周りに流されずに、自分で考えて人と付き合い合っていく。	自分を守るために周りに合わせ過ぎだと思った。悪いこと、嫌なことを思い出したくなくて、自分の中で忘れようとしていた。でも忘れる事が出来ず、ずっと引っかかったままだったことが分かった。
少し考える。	もう少し深く将来のことや次のことを考えて行動できるようにしたい。少しでも考えることで、自分にブレーキをかけることが出来ると思うから。過去の嘘などは消せないけど、この先の嘘を減らしていけると思う。

【考察】

この学習は、小学校3年の児童が書いた詩を読んで、自分の嘘や偽りの言動を思い返し、自分自身を見つめ直すことを通じて、今後の生き方を考えることが目的である。

生徒自身が自分を分析し、思い出したくない過去やつらい経験を文字にするのは、勇気がある作業である。「些細なことで人間関係を壊してしまうのではないか」という不安をもち、自身の気持ちに正直になれず今まで過ごしてきたこと、「過去の自分の嫌な言動を忘れよう」としても、頭の中で消すことができず心が重かったなど、心に葛藤をもち続けている生徒は、今まで苦しんできた自分を許すきっかけとなり、心が軽くなったという生徒もいた。過去の出来事を繰り返さないための生き方を模索する生徒もいた。

精神的な負担を伴う内容であるが、優れている人にも欠点はある、人はよいところばかりではないことを知ることも、人として成長していく上では大切なことである。

自分自身について考えることは、今後の進路に大きく影響し、生き方なり方にも反映される。これまでの自分を振り返ることや、これまでの生き方を分析することで課題が発見でき、それが1年間の目標となる。

(2) 実践②

【単元名】 第1章 自分らしい人生をつくる

【『明日を拓く』から使用する教材】 第2節 他者を理解する「上手に自己表現しよう！」

【単元の指導時間】（8時間完了）本時3/8

- 1 生涯発達の視点……………1
- 2 青年期の課題……………1
- 3 目標をもって生きる……………2（本時1/2）
- 4 人生をつくる……………1
- 5 家族・家庭を見つめる……………1
- 6 これからの家庭生活と社会……………2

【題材】 「コミュニケーションスキルを身に付けよう」（ワークシートタイトル）

【題材の目標】

（教科の視点）社会的自立のためのコミュニケーションスキルを身に付ける方法を体験を通して学ぶ。

（道徳の視点）自分の考えや気持ちを確認し、相手の考えや気持ちを理解し、配慮した伝え方ができる。

【学習活動と道徳の内容項目】（中学校の分類による）

1 主として自分自身に関すること

（自主自律・誠実，責任）自律の精神を重んじ，自主的に考え，誠実に実行してその結果に責任をもつ(1-(3))。

2 主として他の人とのかかわりに関すること

（人間愛・思いやり）温かい人間愛の精神を深め，他の人々に対し思いやりの心をもつ(2-(2))。

【指導展開】

	学習活動（生徒）	指導上の留意点（教員）	参考
導入	1 本時の目標と学習内容を知る。	人はそれぞれ「伝え方の癖」があり，現在の自分のコミュニケーションタイプと，今後どのようなコミュニケーションの仕方がより適切なかを体験を通して考えることを知らせる。	「上手に自己表現しよう」を中心とした展開
展開	1 アサーティブチェックをする。 2 コミュニケーションの4つのタイプを知る。 3 アサーティブチェックの資料にある各伝え方が，4つのタイプのどれに当たるかを考え発表する。 4 各自のコミュニケーションタイプを分析する。 5 アサーショントレーニングを体験する。 (1) 役割について説明を聞く。 (2) 練習問題を行う。聞き役として気付いたことを記入する。 (3) シーン1を体験し，各自の役割で気付いたことを記入する。 (4) シーン2・3を体験し，各自の役割で気付いたことを記入する。 6 アサーショントレーニング体験で感じたこと学んだことを書く。	○アサーティブチェックの当てはまるところの数字を○で囲ませる。 ○「アサーション」の意味を含めた「伝え方」のタイプを知らせる。 ○ワークシート1を考えさせながら順に発表させる。 ○ワークシート1に自分がチェックを入れたところを○で囲ませる。 ○自分のコミュニケーションタイプを書かせる。 ○3人一組のグループをつくり，自己表現役，相手役，観察役について説明する。 ○3回実施するため，各自それぞれの役を体験することを知らせる。 ○アサーショントレーニングの仕方を見せる。このとき，自己表現役は演劇部や活発な生徒を人選し，相手役を教員が行う。 ○シーン1を読みあげ，状況を理解させる。 ○シーン1を体験させる。1分30秒後に「残り30秒」と言う。 ○シーン1のそれぞれが担当した役の部分を記入させる。 ○シーン1と同様に，シーン2・3を行わせる。このとき，役割交代をするよう指示する。 ○アサーショントレーニング体験で感じたこと学んだことや考えたことなどを記入させる。	資料配付 ワークシート配付 ワークシート1 ワークシート2 ワークシート3 練習 ワークシート3 シーン1 ワークシート3 シーン2・3 ワークシート4
終結	1 本時のまとめ 2 応用編を考える。	○アサーティブな表現方法は，人間関係を円滑にするためには有効な方法であることを伝え，日頃の生活の中で生かすよう指導する。 ○応用編として，「絶対してはいけない」ことを人に伝えるための方法を考えさせる。 ○課題（宿題）としてもよい。	「青少年の問題行動」を応用編として使用

【展開の工夫】

- 教科の内容と『明日を拓く』教材を採り入れたワークシートを準備した（資料2）。
- アサーションの意味を理解させるために、アサーティブチェックを実施した。
- トレーニングを始める前に、あらかじめ具体的なシーンを利用して、手本を見せる。
- トレーニングを行うに当たって機械的に3人のグループを作り、自己表現役、相手役、観察役については、名簿番号順に実施した。
- 相手役には「残り30秒」の合図があるまで妥協せず会話を進めさせ、合図で妥協し解決するよう伝えた。
- それぞれの役割については、シーンごとに何をすればよいのかを説明した。
- 応用として、『明日を拓く』の教材にある「青少年の問題行動」の中の項目（「タバコを吸う」、「学校をさぼる」、「嫌がらせのメールをする」）について、友人の問題行動に対する自分の思いをアサーティブな言い方でどのように伝えるかを考えさせた。

【留意事項】

- 相手役の話の内容によって、会話が終了するようなことがないように、それぞれの役割を理解した言葉を選ぶよう指導する必要がある。

（例）「突然の欠席理由や都合の悪いお願いをする」ような場面で、その理由を「〇〇の葬儀」など、明らかにそこで終了するような会話とならないよう指導する。

【授業後の生徒の記録と考察】

【生徒の記録から・・・アサーショントレーニングを体験した感想】

- 何時も無意識にしている会話や態度も、少し考えてみるといろいろな見方があっておもしろいと思った。相手とのコミュニケーション力を上げる方法として、これからの社会生活に生かしていきたい。
- 人によって対処法が変わってくると思うので、上手に使い分けられると良いと思った。
- 相手を傷付けないためにはどのように言えばいいのか、言葉のチョイスが大変だった。
- 自分が感じたことを正直に伝えると気持ちがスッキリすると思った。言い方によっては失礼かなとか、怒るかなと思ったが、相手のために言っていることだから、友人として伝えることは伝えるべきだと分かった。
- 相手役の時にいろいろ言われたが、嫌な思いはしないし、逆に自分の悪い所に気付くことができた。
- 怒るときは、相手の気持ちを考え、解決策を考え「これからどうするべきか」を一緒に見付けてあげる優しさが必要だと思った。
- 3人グループでのシミュレーションは、2人の会話を客観的に見ることができたので、人に見られても嫌な気分にならないような気持ちのよい会話を心がけたい。
- 友だちにはアサーティブな表現が出来ているが、家族に対しては嫌みや怒りの対応しかできていないので、家族も大切な人達だから家族にも優しい表現をしないといけないと感じた。

【生徒の記録から・・・アサーショントレーニングの体験が生かされた場面】 9月上旬に実施

いつ頃	誰に対して	どのような場面で	どのように表現したか
夏休み	知らない高校生	東京ディズニーランドのショーの席で、誰かの荷物をどかして座ろうとしていた場面を見たとき	「その席は他の人が先に場所をとっておいて、どうしても抜けなければいけない用事があったと思うので、他の席に移動を御願います」と柔らかく伝えた。
外出中	お店の店員さん	不良品の交換をお願いしたとき	私が、「この商品は変だと思うので取り替えてくれますか」と言ったら、「そんなはずはない」と店員さんに言われた。引き下がれなかったので、「でも、もう一度確認してもらえますか？」と言ったら、確認してくれて、謝りながらお礼された。
夏休み	LINEの友達	一緒に遊ぶ約束をしたが、友達の指定した日時に予定が入っていた	「ごめんね、その日は予定が合わないから、〇月〇日はどうですか？」と断るだけではなくて次の予定が合う日を伝えた。

夏休み	近所の子ども達	遊んでいる感じが若干弱いものいじめになってきていたのを見ていたとき	「〇〇君だけがいつも鬼じゃなくて、みんなで交替でやろうね」と軽く言って帰った。
夏休み	母の友人の子ども（小学生）	いやがっている私の家の猫を逃がしてあげるため	猫も、子どもに抱っこされたり触られたりして、機嫌が悪くなってきたので「ネコさんそろそろお昼寝の時間だから、寝かせてあげようね」と伝えたところ、子どもはそれでも放そうとしなかったため、「ネコさんも眠たいって言うてるよ。〇〇君も眠くなるときあるよね。ネコさん離してあげよう」と優しく声をかけた。

【考察】

「アサーティブ」という言葉の意味を理解させるために、「特定非営利活動法人アサーティブジャパン」のウェブページ上のチェックリストを使用した。ただし、チェック項目によっては生徒が判断しにくいものもあるため、生徒向けに設問項目を変更した。「アサーティブ」という言葉の意味についてほぼ理解できたようである。

体験的な学習や実習は、生徒が楽しんで参加する授業となる。今回活用した「上手に自己表現しよう！」を教材とした授業展開では、相手の立場を尊重しつつ自分の意見を伝える練習をした。言い方を変えただけで、人に伝わる印象が変わってくることを、体験を通して学ぶことができた。この学習のよいと思われる所は、コミュニケーション能力の有無に関わらず、強制的に体験させられるところにある。日頃口数の少ない生徒でも、自分の言いたいことが言える体験は、大きな意味のある体験だったようである。また、機械的に三人のグループを作るので、日頃会話の少ないクラスメイトとも会話をする機会が生まれ、慣れない相手と会話をする練習にもなったようである。反面、性格的に弱く自分で判断したり、経験不足により言葉が出てこなくなってしまう生徒は、話術の上手な生徒に言い負かされてしまうこともあるが、どのような言い方が求められているかを知ることができたようだ。相手に対する思いやりや状況を判断した言葉の選択の必要性にも気付くことができた。

この経験が日常生活に生かされているかを、5か月後に調査した。生徒の回答には、家族や友人、部活の後輩などに対するアサーションの体験が多く記されており、意識的ではなく自然に、状況や人間関係に配慮した伝え方ができるようになってきたことが感じられる。見知らぬ他人に対しても「アサーティブ」な表現を活用したコミュニケーションができたと書いている生徒が複数いた。

また、『明日を拓く』の教材にある「青少年の問題行動」について、友人に対し「アサーティブな言い方で、してはいけないことをどのように伝えるか」を考えさせた。アサーティブな表現による言い方や話し方については、この学習の成果が出ていると言える。しかし、「青少年の問題行動」については、人の感情や価値観、その場の雰囲気や状況などが絡むことが多いため、言葉による表現をアサーティブにしたからといって、この問題が解決したことにはならないということや、「青少年の問題行動」について、「してはいけない行動である」という高い意識をもっていることも、生徒の回答を通して見ることができた。

(3) 実践③

【単元名】 7章 住生活をつくる

【『明日を拓く』から使用する教材】 第1節 自己をみつめる「トリアージタッグ」

【単元の指導時間】（8時間完了）本時4/8

- 1 住生活について考える……………2
- 2 住生活の計画と選択……………5
 - (1) 安全で快適な住生活……………2（本時2/2）
 - (2) 健康な住生活……………2
 - (3) 誰もが住みやすい住まい……………1
- 3 持続可能な住生活を目指して……………1

【題材】 「災害対策」(ワークシートタイトル)

【題材の目標】

(教科の視点) 災害時における日頃の備えと、その心構えを身に付けることができる。

(道徳の視点) 大災害時などの困難な状況下における医療の難しさ、命の尊さ、生きることに対する意味など、「命」に対する価値観を考える。

【学習活動と道徳の内容項目】(中学校の分類による)

3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

(生命尊重) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する(3-(1))。

2 主として他の人とのかかわりに関すること

(立場の理解, 寛容, 謙虚) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を持ち謙虚に他に学ぶ(2-(5))。

【指導展開】

	学習活動(生徒)	指導上の留意点(教員)	参考
導入	1 本時の目標と学習内容を知る。 2 大きな災害や大きな事故現場での状況を想像する。	○大災害や大事故現場での命の優先順位を考える時間であることを知らせる。 ○大災害や大事故現場がどのような状況になっているのかを想像させ、数人に発表させる。	ワークシート1
展開	1 資料「現場の声」 (1) 資料を読む。 (2) 現場の状況を想像する。 (3) 現場に居合わせたときの自分自身の思いと行動を考える。 2 トリアージについて考える。 (1) トリアージとは、トリアージタグとは何かを知る。 (2) トリアージをどう思うかを考える。 (3) トリアージについてグループで話し合う。	○困難な状況下で行動している人の気持ちと、その思いについて考えさせ、発表させる。 ○現場に居合わせたときの自分自身の思いと、そのときの行動を考えさせ、発表させる。 ○「トリアージの意味」に関する資料を配付し説明する。 ○トリアージについて各自で考えさせる。 ○4～5人のグループをつくり、司会者・書記・発表者を決め、トリアージについて意見を交換し、発表させる。 ○疑問に感じたことや理解できないこと等、話し合いの中で出た事柄もまとめておき、班の意見として発表するよう指示する。	ワークシート2(1) ワークシート2(2) 資料を配付 ワークシート3(1) ワークシート3(2)
終結	1 本時学習の感想や意見を書く。 2 本時学習のまとめ	○過去の大災害や、大地震が予測されている現状を踏まえ、授業を振り返り感じたことや考えたこと、人の意見から学んだことなどを書かせる。 ○トリアージについては、緊急・救急医療現場ではマニュアルに沿って行われているが、「命」の価値については人それぞれがいろいろな立場で思い悩み対処していることを知らせる。また自分自身に起こりうることとして、今後の生活を大切にすることも伝える。	ワークシート4

【展開の工夫】

- 教科の内容と『明日を拓く』教材を採り入れたワークシートを準備した（資料3）。
- 災害現場の状況等をイメージさせるために、テレビドラマなどの例を挙げた。
- グループ討議において、司会者、書記、発表者の意図的な役割分担と、仕事内容の確認をした。
- グループ協議中（協議の妨げとなることも考えたが）、災害現場の状況や、医師、看護師、レスキュー隊、救急車等の作業状況などについて話をしながら机間指導を行った。
- グループ討議中、協議が中途半端にならないよう進行を補佐するために時間を知らせた。
- 発表直前に各班でリハーサルをするよう指示した。

【留意事項】

- 生徒の経験不足や、新聞・報道記事を読む機会が少ないこともあり、事件現場に関するイメージが浮かばないため、イメージできるような数分のDVDなどがあるとよい。トリアージタグが具体的に使用された例
- や、今後予想される使用場面、危機管理に対する行政の動きについて、情報を準備した方がよい。



【授業後の生徒の記録と考察】

【グループワークの様子】

【生徒の記録から・・・「トリアージ」の必要性と授業後の感想】

「トリアージ」の必要性について

【必要である】

- 大きな災害が起こったときに、平等なんてことは言ってもらえないと思うからです。むやみに手を付けても助かる人はごく一部になってしまうと思うので、こういう区別はとても大切。
- 軽傷なのであれば後でもいいけど、重傷の人は、一刻を争うので、やはり一目で見て分かるようにしているのは大事だと思う。時間が大切なので、作業する人がタグの色を見て判断できるので、治療効率も上がり良いと思う。

【差別である】

- 混乱した現場で人が正常な判断を出せないと思うし、トリアージされた人の遺族が責め立てるのを想像ができるから。
- 勝手に死亡組にされたらかわいそうだから。

【その他】

- 客観的に考えると、助かる人をより多く助けた方がいいと思うけど、自分の身近な人が「黒タグ」を付けられ、まだ息があるのに後回しにされるというのは納得できない。
- 優先順位を決める事は確かに効率のいい治療に繋がるかもしれないが、その見極めを誤ってしまったら、助かる命も助からなくなってしまうので、もう少し考える必要があると思う。

【生徒の記録から・・・「トリアージ」の必要性と授業後の感想】

授業の感想

- 一人でも多くの人を助けるためには、やっぱり一人でも多くの命を救う側の人は必要だと感じる。医師や看護師が少ないのは変わらない。その時に、一般の人に出来ることは何なのかを考える。そういった事態はなかなか起こらないけど、学校などの教育でもっと教えるべきだと考える。私は看護師を目指しているが不安でいっぱいです。しかし、一人でも多くの命を救いたいという志をもって、立派な看護師を目指したい。

○自分の知り合いや家族に黒のトリアージタグが貼られてしまったらすごく嫌だし、悲しいし、お医者さんや看護師さんに助けを求めてしまうと思います。でも、差別をしているわけではないことを頭に入れておかなければならないと思いました。多くの命を助けるためには必要なことで、助けに行ける人数も限られるわけだから、少しでも効率を良くするためにはしかたがない。命を簡単にあきらめたいわけじゃないことを、分かってあげることが大切だと思った。

○もし大災害が発生して自分が被害に遭い、トリアージによって黄色タグを貼られてそのせいで、怪我が悪化して死んでしまったら、自分の犠牲で誰かが助かったとしても、やりきれないと思う。当人が死を受け入れられたとしても、家族や友人がその死の原因を知ったとき受け入れられるのか分からない。最もこんな事が起きないのが一番いい。

【考察】

「トリアージ」という言葉の意味は何となく理解できたようであるが、日常的ではないことから、いつ、どのような場面で活用されるのかなどを説明する必要がある。また、災害における危機的意識が不足しているように感じた。「トリアージ」という考え方は受け入れなくてはならないが、生徒の気持ちの中に、「命」に関わるだけに葛藤が見え隠れする。自分自身が事故や災害に遭遇した場合に想定できることを、多角的な視点から考え、行動力へとつなげるためには、常日頃からの危機的意識を高くもたせ、日々の生活を主体的に生きていくための指導を心がけることが必要であると感じた。

「トリアージタグ」は、「モラルジレンマ」を題材とした読み物学習である。何を選ぶか、どちらを選ぶかの心の葛藤には、いろいろな人や立場の異なる人の考え方や意見を聞いたり調べたりして、自分自身なりの結論を導くことが必要と思われる。狭い経験しかないために、情報量の少ない内容をいかに読み解き、それを自分自身の在り方生き方にどうつなげるかが難しかった。特に読み物学習では、紹介される文章に感情移入してしまい、自身の判断が十分にできない生徒が多いように感じた。『明日を拓く』に記載された資料だけでは十分ではないため、授業に当たって指導する側の準備として、多角的な情報収集と生徒への提示方法、学習展開の工夫も検討する必要がある。

6 成果と課題

(1) 実施の成果

高校生活は、高校卒業後に自立し責任ある生活を送るため（社会人になるため）の準備段階である。教科の知識や技術の定着を図ることと並行して、道徳性を育むことを意識した授業は、実践例の生徒の意見や感想にも見られるように、生徒自身を成長させることにつながっており、その意義は大きいと思われる。

道徳的内容を含む学習は、コミュニケーション能力の低い生徒、自己肯定感の低い生徒にとって、自分自身で考える体験、自身の意見を述べる体験、他人の意見を聞いて学ぶ体験、考えをまとめ整理し記述する体験などができる貴重な体験的学習の場である。また、言語活動を取り入れたグループ学習は、コミュニケーション能力の向上にもつなげることができる。

主体的に思考、判断し、他の人の意見を尊重しつつ、自分の考えを自信をもって述べることは、今後の社会生活に必要とされる能力である。人に頼ることなく、自分自身の意見や考えを行動に移すことができるようになれば更によいと思われるが、この点に関しては、生徒自身の勇気と挑戦する力が必要となる。

家庭科の授業の中で取り上げた『明日を拓く』の教材は、今回紹介した三つの資料を含め、九種類ある。視点を変えて活用した教材もあるが、どの授業も、生徒にとっては、自身で思考したり仲間と論じ合ったりする中で、教科の内容とともに、在り方生き方を真摯に考える意義ある学習であったと思われる。

(2) 実施の課題

教科の学習の中で道徳教育を実践して3年となるが、実際に授業を展開して初めて課題が見えて

くる。平成25年度の研究発表でも報告したが、授業を実施するに当たり、生徒の実態や動きなどに合わせていろいろな資料を準備する必要があった。また、周到な準備をしても、授業を展開していくと、教師側の意図とは異なる視点からの意見が次々出され、常に授業展開を修正する必要があった。このように、道徳教育は実施するごとに新たな問いや視点が生まれるため、それらに対する検討がそのつど必要となる。これは負担の大きいことだが、よりよい授業展開を図るための工夫は教える側にとっても勉強になるし、生徒にとっても、自らの発想が、在り方生き方を考える授業に生かされる貴重な機会となっている。

授業終了時点では、ねらいとした道徳の価値に対し高い意識をもった意見が記述されるが、時間の経過とともにその意識が薄れていくこともあり、その場限りの指導となってしまう可能性がある。継続的に道徳の価値を追求できるとよいと思われるが、時間的制約もあり、なかなか難しい。

『明日を拓く』の教材は、1時間の授業で完結するものもあるが、グループ討議などを入れると時間が不足し、話し合いが中途半端で終わってしまうこともある。十分な討論とまとめの時間をもつために、複数時間の確保が必要となる教材もある。

読み物学習では、『明日を拓く』で準備されている資料だけでは不十分な場合があることが分かった。限られた資料では、その内容に感情移入してしまい論点がずれることも多いので、異なる角度から同じ問題を取り上げた資料を複数用意するなどの工夫が望まれる。

7 おわりに

生徒は、少ない経験や情報量、表面的な部分だけで物事を考え判断する。道徳的な知識はあっても行動できない生徒や道徳的な知識が十分にはない生徒も多く、学校教育全体の中で適切な場面、適切な内容を提示し導いていく必要がある。道徳性を養うためには、道徳的な知識について、生徒が理解できる言葉で、具体的に説明することも大切である。しかし、道徳的判断に基づいた言動に結び付けていくためには、教える道徳だけでなく、思考させる道徳、判断させる道徳、行動するための道徳などを経験させることも必要と考える。一方的な指導だけでは道徳性を養うことは難しい。自らの経験や人の意見、実験・実習などを通して、人との関わりの中で体験的に学ぶことで育つものもある。

教科「家庭」に関する各科目には、道徳的な視点を採り入れることができる学習内容が多い。「家庭基礎」の学習内容の中に『明日を拓く』を活用した授業の試みは、体験的・思考的学習や、言語活動による学習が可能であり、生徒は、自分自身を知ることや、多様なものの見方や考え方を学ぶきっかけとなった。これにより、自身の考えを更に深めるための情報収集をしたり、実践に移したりすることができるようになった生徒もいる。

『明日を拓く』の資料やワークシートは、今回の実践例でも示したように、学校の実態・扱う教科・単元に合わせて自由に編集し直して使用することができる。道徳的視点を踏まえた単元構想・授業展開を工夫することで、部分的使用でも効果的に教科の中で活用することができるため、今後有効に活用し、生徒の道徳性・社会性の向上に努めていきたい。

参考文献

- 愛知県教育委員会『明日を拓く 一人間としての在り方生き方を求めて－』平成25年3月

家庭基礎No.1 自分らしく生きるには（自分調べ） 教科書 p8～11

目標 ○「家庭基礎」での学習内容と評価方法について知り、これからの学習姿勢について考える。
 ○日頃の生活を振り返り、この1年間で身に付けるための目標を立てる。
 ○人は完成された人間ではないこと、周囲に受け入れられ支えられている存在であることに気付かせ、他者への感謝と思いやりの心を育む。

1 中学校や小学校の家庭科の学習について記憶にあることを書きましょう。

<小学校>

講義で学んだ内容

<中学校>

講義で学んだ内容

調理実習

調理実習

製作物

製作物

2 家でのあなたの係は何ですか？

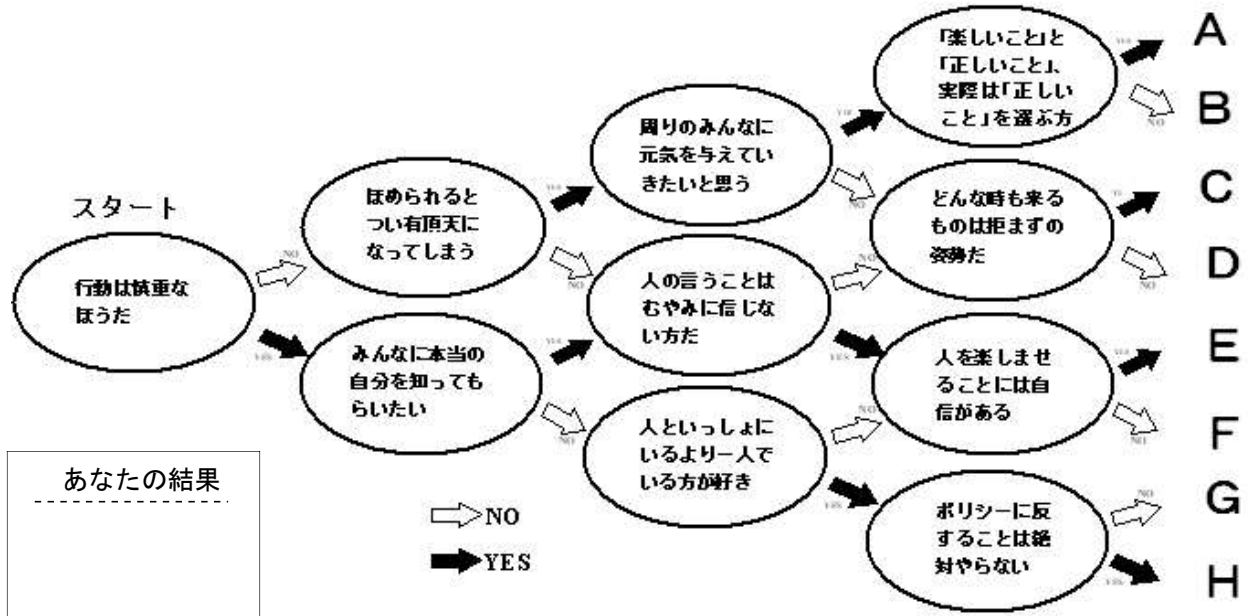
（何もない場合はなぜかな？理由や原因を考えて書こう）……→→

係：	いつから？：
どんなこと？理由	

3 先生からの「家庭基礎」の学習目的・内容の説明で必要があればメモをとりましょう。

4 「家庭基礎」の評価方法の説明で必要と感じたことがあればメモをとりましょう。

5 人にはいろいろな側面があります。自分がどのようなタイプなのか下のチャートでチェックしてみましよう（東京書籍「家庭基礎」準拠学習ノート（2007年版）より）。



A	熱血社交派	行動的で根っからの交流好き。人と接することが苦にならないタイプ。オープンに本音話す。
B	素直な人好き派	みんなとワイワイ楽しむのが好き。誰とでも気さくに話ができるタイプ。隠し立てなく正直に話をする。
C	人情受け止め派	働きかけてくる人をおおらかに受け止めるタイプ。打ち解けたら本音で話をし、人に対して義理堅い。
D	人見知りの愛着派	狭く深い付き合い方で、気心の知れた人との交流が心地よい。聞かれれば素直に本音話す。
E	気遣い盛り上げ派	上手く人を乗せて盛り上げるタイプ。できれば他人のネタで楽しみたい。建前を話している方が気楽。
F	そつなく協調派	調和を大切にするタイプで話好き。人には興味があるが、自分の気持ちはあまり表さない。
G	思いやりアクション派	さりげないフォローが得意。接してくる人を暖かく受け止めるが、本音を語るまでには時間がかかる。
H	ロマンス型受け入れ派	あっさりとした人付き合いをするタイプ。自分の考えは確固として持っているが、あまり表現しない。

6 自分自身を分析（主に性格・行動力・考え方など）してみよう。

自分の好きな部分	自分の嫌いな部分
自分も他人も知っている部分	自分は知っているが他人は知らない部分

(4) 「嘘、偽り、嫌がらせ（自分の悪い面）などの行動」を思い出すことで、嫌（不愉快）だったと感じたら、その気持ちを感じたままに書いてください

(5) 自分はどのようなときに「嘘、偽り、嫌がらせ（自分の悪い面）などの行動」をとると思いますか。

(6) あなたは、「嘘、偽り、嫌がらせ（自分の悪い面）などの行動」をとってしまった相手に、今どのような気持ちを抱いていますか。

8 問5～問7を通して自分自身を分析しましたが、あなたは、何を感じ考えましたか。自由に書きましょう。また、あなたが今後、どのような生き方をしたいと思いましたか。その決意を1文で書いておきましょう。

これからの生き方：

自己評価をしてみよう	A：できた（思う）	B：普通（分からない）	C：できない（思わない）	学習後の感想
1. 興味関心をもって学習に取り組むことができた	A	B	C	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
2. 学習目標が達成できた	A	B	C	
3. プリントの記入が時間内にでき、提出日に出せる	A	B	C	
4. 今後の生活に生かすことができると思うか	A	B	C	
5. 自己分析ができた	A	B	C	

家庭基礎 No.3 コミュニケーションスキルを身に付けよう（上手に自己表現しよう・青少年の問題行動） 教科書 p14

目標 ○ 社会的自立のためのコミュニケーションスキルを身に付ける方法を体験を通して身に付ける。
○ 自分の考えや気持ちを確認し、相手の考えや気持ちを理解し、配慮した伝え方ができる。

1 アサーティブチェックの設問はどのタイプになるだろう？空欄に番号を入れよう。あなたが選んだ番号を○で囲もう。

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
おこりキャラ									
ひるみキャラ									
いやみキャラ									
アサーティブ									

2 あなたは総合的にみてどのタイプでしたか？

3 アサーショントレーニングをしてみよう。

(練習) あなたは友人と2人でバスケット部のマネージャーをしています。公式戦の朝、あなたは都合で試合会場に行けなくなりました。友人と分担した仕事も果たすことができません。あなたは友人にどのように謝りますか。

自己表現役：謝る

相手役：許せないことを訴える

聞き役：謝る人の謝り方を中心に観察

自分の役（聞き役）係 気付いたことを記入する	
---------------------------	--

シーン1 授業後に友達から、「授業で使う教材を買いに行くのでつきあって欲しい」と言われました。授業後は自分にとっては大切な部活があるので、買い物につきあう気にはなれません。友達にどのように断りますか。

役割 自己表現役：名簿① 相手役：名簿② 聞き役：名簿③

自己表現役：断る **相手役**：つきあって欲しいことを訴える **聞き役**：断る人の断り方を中心に観察

自己表現	難しいと感じたこと	
現役	自己表現したときの評価 ○(できた)、△(普通)、×(できなかつた) を記入する	() 相手の気持ちを理解しようとした。 () 明確で、誠意のある言葉遣いができた。 () ジェスチャーを入れながら感情豊かに表現できた。
	自分の役（ ）係 気付いたことを記入する	

シーン2 買って間もないCDを友達に貸してあげました。ところがなかなか返してくれません。二回ほど催促しましたがいまだに持ってきてくれません。友達にどうやって返してもらいますか。

役割 自己表現役：名簿② 相手役：名簿③ 聞き役：名簿①

自己表現役：返して欲しいことを伝える **相手役**：返せない理由を言う

聞き役：「返して欲しい」ことについての伝え方を中心に観察

自己	難しいと感じたこと	
表現	自己表現したときの評価	() 相手の気持ちを理解しようとした。
役割	○(できた)、△(普通)、×(できなかつた) を記入する	() 明確で、誠意のある言葉遣いができた。 () ジェスチャーを入れながら感情豊かに表現できた。
自分の役 () 係 気付いたことを記入する		

シーン3 駅の改札口の前で友達と待ち合わせをしていますが、約束の時間から20分たっても来ません。友達は遅刻の常習犯。乗車予定の時間ぎりぎりになって現れた友達に、どのように注意しますか。

役割 自己表現役：名簿③ 相手役：名簿① 聞き役：名簿②

自己表現役：注意する 相手役：遅刻した理由を訴える 聞き役：注意の仕方を中心に観察する

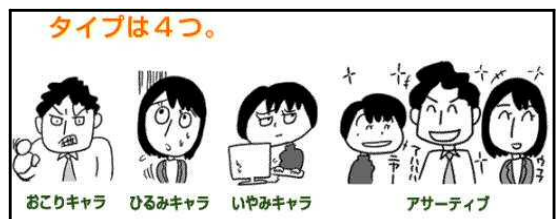
自己	難しいと感じたこと	
表現	自己表現したときの評価	() 相手の気持ちを理解しようとした。
役割	○(できた)、△(普通)、×(できなかつた) を記入する	() 明確で、誠意のある言葉遣いができた。 () ジェスチャーを入れながら感情豊かに表現できた。
自分の役 () 係 気付いたことを記入する		

4 アサーショントレーニング体験で、感じたこと、学んだこと、考えたことを自由に書こう。

<資料>コミュニケーションパターン

私たちは様々な形で相手とコミュニケーションをとっていますが、「伝え方のくせ」によって、言っていることが相手に伝わらない場合もたくさんあります。伝え型のパターンは下図のように4つあるとされます。下図の「アサーティブ」とは、訳語は、「自己主張すること」。しかし、アサーティブであることは、自分の意見を押し通すことではありません。自分の要求や意見を、相手の権利を侵害することなく、誠実に、率直に、対等に表現することを意味します。

現在の自分のコミュニケーションパターンは、どんなタイプなのでしょう。質問の答え方によって、自分のコミュニケーションパターン(自分のコミュニケーションのくせ)が見えてくるかもしれません。



(出典：特定非営利活動法人アサーティブジャパンHP <http://www.assertive.org/>)

アサーティブチェックをしてみよう。設問を読んで、該当する番号に○を付けよう。
(前掲 アサーティブジャパンHP セルフチェック「自分のタイプを知ろう」を一部改変)

設問1. レストランで頼んでいた料理がなかなか出てこない。そんなときあなたは…。

1. 不安になりながらも、黙って待つ。
2. 「いつまで待たせるんですか！」と感情的に抗議する。
3. 「20分くらい待っているのですが、あとどれくらいかかりますか？」と冷静にきいた上で、時間がかりそうだったらキャンセルを申し出て店を出る。
4. イライラして待った結果、お店の悪口をインターネット上に書き込む。

設問2. 友人からお勧めのマンガを借りたが、全然おもしろくなかった。「マンガどうだった？」と聞かれた。そのときあなたは…。

1. 「超最悪だった！あれのどこがいいわけ？」とふてくされてマンガの悪口を連発。
2. 「面白かったね」とうそをつく。
3. 「まあ人それぞれだよ」とぼそっとつぶやき、しばらく不機嫌。
4. 「ちょっと言いづらいけど」と正直にマンガの感想を言う。

設問3. 中学時代の先輩から電話がかかってきたと思ったら、部活への勧誘だった。自分は決めた部活があり、満足していて先輩の部活に入るつもりはない。そのときあなたは…。

1. 相手との関係を悪くしたくないので、しぶしぶ部活に入る。
2. 「興味ないしムリです」と、はっきりきっぱり断る。
3. 「お気持ちはありがたいのですが、今は〇〇部への入部を考えています」と断る。
4. 「入ってもいいんですけど、友だちがどう言うか…」と、友だちをだしにして断る。

設問4. 疲れている時に家族から文句を言われました。思わずカチーンときたあなたは…。

1. 10倍にして言い返す。
2. ここで波風を立てたら後が大変だから、「ごめんね」と言って先に謝る。
3. 無視してしばらく口をきかないでいる。
4. 「今疲れているから、また別の機会に話してもいい？」とその場を離れる。

設問5. 後輩が何度もミスをしている。これまでも「何がわからないのかな」と優しく聞いていたけれど、これで5回目。堪忍袋の緒が切れそうになったあなたは…。

1. こいつはもうだめだとあきらめて、自分の運の悪さを嘆く。
2. 「何度言ったらわかるんだ」と、思わず怒鳴ってしまう。
3. 「このままではまずいよ」と伝えて、具体的な変更点を提案する。
4. これまでのミスの一つひとつ挙げて、「君にはがっかりだよ」と、冷静に説教し、相手がどんなに迷惑をかけているかを認めさせる。

設問6. 実験のレポートをまとめたところ、先生が「この間のレポート、すごくよかったよ」と褒めてくれました。意外な褒め言葉にあなたは…。

1. 「いえいえ、自分なんて…。そんなことありません…」とモジモジする。
2. 「ありがとうございます。そんな風に言われると嬉しいです」と感謝する。
3. 「そんなこと言っても何も出ませんよ」と皮肉で返す。
4. 「別によくはないですよ」と言って、相手の言葉を否定する。

設問7. 後輩に部室の片付けを頼んで帰宅したけれど、翌日来てみたら何もできていない。がっかりしたあなたは…。

1. 猛烈に「怒りのオーラ」をかもし出して、相手に「悪かった」と思わせる。
2. 「なんで？どうして？すぐにやって！」と、即刻やらせる。
3. 正直にがっかりしたことを伝え、相手の理由も聞いた上で「やってもらいたい」と伝える。
4. 「こんな人に頼んだ自分が間違いだった」と反省して、自分でやる。

設問8. 忙しい先輩に、急いで資料に目を通してもらいたいと思っている。そのときあなたは…。

1. 「お忙しいところ申し訳ありませんが、〇〇をお願いします」と勇気をもって頼む。
2. 忙しいので自分の依頼をひっこめる。
3. 「今、忙しいですね…」と言いつつも、なんとなくその場をうろうろして相手に「どうしたの？」と声をかけてもらう。
4. 相手が忙しいかどうかについては、全く気にならない。

設問9. 自分がリーダーシップをとって一生懸命企画したイベントが、うまくいかなかった。そのときあなたは…。

1. 自分がリーダーとして失格だったんだと責めて、激しく落ち込む。
2. 他のメンバーがやってくれなかったせいだと、周りを叱り飛ばす。
3. 精一杯やった事実を認め、今後自分にできることは何かを考える。
4. 自分のせいではなく「〇〇さんのせいです」と誰かに責任転嫁して、周りに愚痴る。

コミュニケーションスキルを身に付けよう (応用編)

次のような場面を見かけたとき、「絶対してはいけない」ということを、あなたならどのように伝えますか。大変言いにくく、勇気の必要な事だと思いますが、考えてみましょう。

- 1 「タバコを吸う」場面を見かけたとき

- 2 「学校をさぼろう」としている人を見かけたとき

- 3 「嫌がらせのメール」を送信しようという人を見かけたとき

自己評価をしてみよう

A : できた (思う) B : 普通 (分からない) C : できない (思わない)

- | | | | |
|---------------------------|---|---|---|
| 1. 興味関心をもって学習に取り組むことができた | A | B | C |
| 2. 学習目標が達成できた | A | B | C |
| 3. プリントの記入が時間内にでき、提出日に出せる | A | B | C |
| 4. 今後の生活に生かすことができると思うか | A | B | C |
| 5. アサーティブな表現方法が分かった | A | B | C |

学習後の感想

家庭基礎 第7章-No.4 災害対策（トリアージタッグ）教科書 p 148・149

目標 ○災害時における日頃の備えと、その心構えを身に付けることができる。
○大災害時などの困難な状況下における医療の難しさ、命の尊さ、生きることに対する意味など、「命」に対する価値観を考える。

組 番 氏名

1 大きな災害や大きな事故現場での状況について、考えられることを箇条書きにしてみよう。

2 「現場からの声」（『明日を拓く』p43・44）を読んで考えてみよう。

(1) 困難な状況下においても、できる限りのことをしようと立ち向かう人は、どのような思いで行動していると思いますか。

(2) あなたが、偶然その現場を通りかかり、その様子を間近に見たとき、何を感じ何を考え、どのような行動をしていると思いますか。

3 「負傷者の治療に優先順位を付ける」トリアージの考え方について、どのように思いますか。

(1) あなたの気持ちに近い意見を○で囲み、理由を書きましょう。

必要だと思う

理由

差別である

その他

(2) グループで話し合った意見や疑問点などをまとめよう。

4 阪神淡路大震災や東日本大震災の過去の状況、東海地方を襲う大地震が予測されている中で、この授業を振り返って感じたことや考えたこと、人の意見から学んだことなどを書いてみよう。（紙面の不足する人は裏面を使用する）

※トリアージとは

大地震が来てまもなくすると、負傷した人々が、次々と治療を求めて病院、診療所、救護所に押し寄せてきます。しかし、これらの施設では停電で医療機器が使えなかったり、スタッフが不足したり、施設そのものが損壊していたりして、治療を求める人々に十分には対応できない状況が生じます。

災害時には、多数の負傷者に対して提供できる医療が少ないという条件のもとで、一人でも多くの人を救命するために、受傷の程度を手早く判断し、程度に応じた治療の場所へ搬送・誘導する作業が不可欠となります。この作業を「トリアージ」といいます。

つまり、「トリアージ」とは、人材・資材の制約の著しい災害医療において、最善の救急効果をあげるために、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分類し、治療の優先度を決定することです。ここで押さえておきたいのは、「トリアージ」とは、優先度決定であって、重症度や緊急度決定ではないということです。すなわち、人材・資材が豊富にある平時では、最大限の労力をもって救急処置される（結果、救命して社会復帰する）傷病者も、人材・資材が相対的に不足する状態では、全く処置されない（その結果、死に至る）場合があるということです。搬送や救命処置の優先順位を「Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ」と決め、「Ⅳ」は搬送救命処置が行われないことがあります。

※トリアージタグとは

トリアージでは、受傷の目印のため、「トリアージタグ」という札を体につける約束事になっています。トリアージの区分として4段階に分かれており、4つの色で分類されます。

この分類は、呼吸の状態、脈をとれるか、意識はどうか、などから判断します。なお、その現場の救命機材、人員の能力、搬送能力、搬送医療機関の能力、症状者の数などで、この分類は相対的に変化します。

優先度	分類	色別	区分
第1順位	緊急（最優先）	赤	Ⅰ
第2順位	準緊急（待機的）	黄	Ⅱ
第3順位	保留（軽症）	緑	Ⅲ
第4順位	死亡群、治療・搬送待機群	黒	Ⅳ

